



果報は「練って」待ちたい！

校長 松添 秀喜

9月26日（金）生徒会執行部役員と後期学級役員の任命式を行いました。聞くところによると、快くすすんで手を挙げてくれた生徒ばかりだったそうです。やる気に満ちてピカピカに輝いている生徒達を見てみると、こちらまで元気になってきます。うれしいものです。そこで今回は、その任命式の全校集会で私が話したことを紹介したいと思います。生徒に話したことはありませんが、私自身への激励の言葉だと思って話した内容です。

さて、今日は【果報は寝て待て】という言葉を紹介します。寝て待てと言われると、「幸運はのんびりと待っている間に勝手にきてくれる」と捉えている方もいるかもしれませんね。しかし、何の努力もしないで、ただ寝ている人のところには、幸運が舞い込んでくるみたいなことはめったにはありません。

そもそも『果報』とは「因果応報」の略で、努力した結果を表すものです。つまり、やるべき事をやったら、結果がでるまで何もする事がない（寝て待つぐらいしかできない）という意味で、実は「人事を尽くして天命を待つ」ということわざと同じものらしいです。

ところで今日は、皆さんがもうワンランク上を目指すために、この「果報は寝て待て」ということわざを次のように変えたいと思います。【果報は練って待て！】

これは、東京大学の安田講堂などで名前が残る安田善次郎氏が広めた言葉で、自動車会社ホンダの創業者本田宗一郎氏も好んで使っていたという格言です。

「寝て待て」と言われたら、やるべきことをやったら、あとは結果が出るまで静かに待つしかない、という受け身のニュアンスが含まれているように伝わります。一方、「練って待て」は、単に待つだけでなく、待っている間ももったいないので、良い結果を生むために、次の計画を立て、実行することがよいという積極性の重要性を説いているように感じます。

学級役員も、専門委員も、生徒会執行役員も、そして豊玉高校生徒全員で、無理はしなくていいですが、この思いを持ち続けてやっていきたいものですね！【「果報は練って待て」です】！期待しています！！

あいさつ+1運動

ペットボトルキャップ寄付

9月11日（木）、「あいさつプラス1運動」を行い、活動の一環としてこれまでに集めたペットボトルキャップを対馬市社会福祉協議会様へ寄付させていただきました。あいさつ運動に参加して下さった皆様、ありがとうございました。



人生の達人セミナー

9月24日（水）、十八親和銀行豊玉支店課長 田雑陽介様を講師にお迎えして、人生の達人セミナーを行いました。SWOT分析を用いた豊玉高校の分析や学校の戦略を考えるグループワーク、模擬紙幣での札勘など、様々な活動を行いました。田雑様、ありがとうございました。



避難・心肺蘇生法訓練

9月25日（木）、対馬市消防署や対馬市消防団の方々にご協力いただき、避難・心肺蘇生法訓練を行いました。グラウンドへの避難後、消火用ホースの連結や放水について、さらに心肺蘇生法とAEDの使用について、体験を交えながらしっかりと学ぶことができました。対馬市消防署の皆様、対馬市消防団の皆様、ありがとうございました。



10月16日(木)～11月15日(土)の行事予定

10月26日（日）	豊高祭	11月 7日（金）	芸術鑑賞会
11月 5日（水）	1年郷土体験学習（舟グロー）	11月12日（水）	韓国文化体験